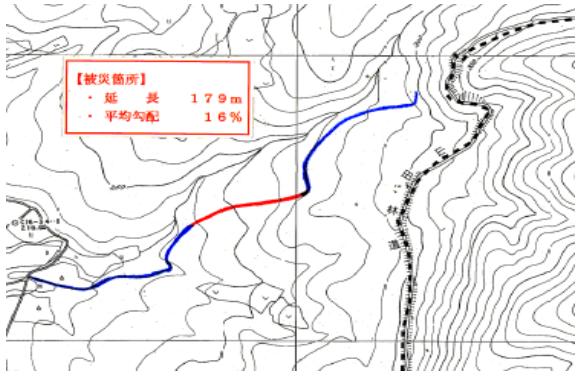
4　路面水

（1）損壊状況（例）

〇現地は急な縦断勾配が続く直線区間であり、素掘側溝を設置していたものの、降雨により、雨水が路面に流出した結果、路面が洗掘（縦断勾配16%）

・状況写真

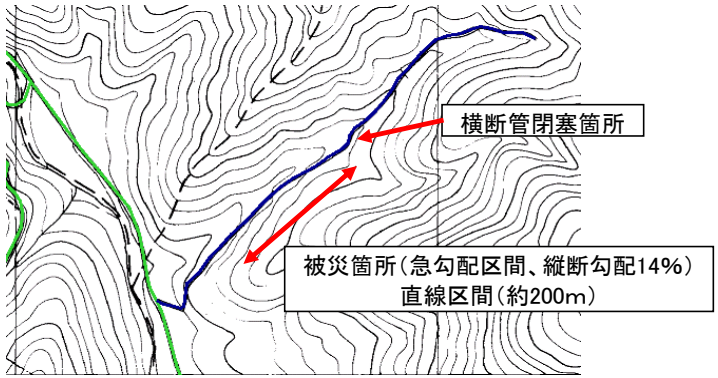
・平面図



〇側溝に土砂が堆積し、雨水が路面に流出し、縦断勾配が急な直線区間であったため、路面が洗掘（縦断勾配14%、直線区間200m）

・状況写真

・平面図



（2）路面洗掘が発生した要因

・等高線を考慮した線形となっておらず、直線で同一勾配が長い区間続いたため、路面水に流勢が増し路面の洗掘が発生。

・側溝を施工した箇所での土砂等による側溝の詰りなどにより、路面水が適正に処理されなかったため、路面を浸食。

（3）対策

・路面水の流勢抑制やこまめな排水を考慮し、縦断勾配を波形線形にする。

・路肩の締め固まりや切土法面勾配からの崩土により形成される水切りの良い横断形状（川側片勾配）の活用によるこまめな排水に努める。